

Unit 3

体験を おもしろく話すには…?

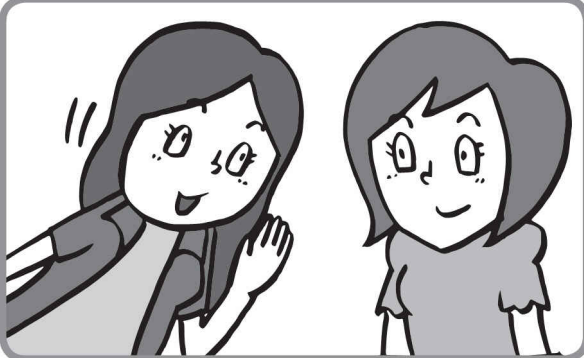
Telling an interesting story

如何把自己的经历讲述得有声有色?

체험한 것을 재미있게 이야기하려면…?

こんな経験ありませんか?

049

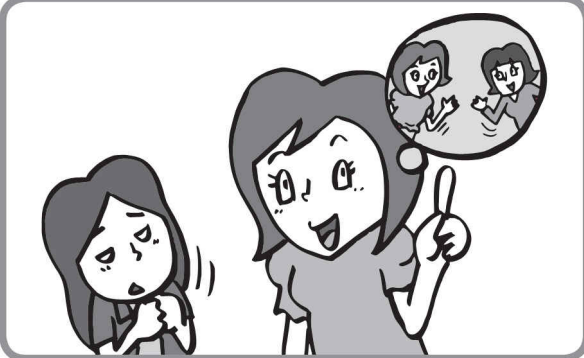


友子：昨日の夕方、駅前のスーパーに行っただけだね、



奈美：ああ、私も行ったよ！でも、雨降ってきちゃったでしょう。傘持たなくて、すごくぬれちゃった。

友子：あ…



奈美：天気予報で雨って言ってただけどさ、家出るときは降ってなかったんだよね。そしたら、偶然友だちに会ってね、その友だちが…

友子：うん…



友子はちょっと困っているようです。なぜでしょう。あなたなら、こういう場合、どのように話しますか。母語で話すときのことを考えてみてください。

Unit 3
の目標

体験談を順序よく最後まで話せるようになるろう!

Learn how to tell a well-structured story from start to finish!
学会把经历的事情按时间顺序讲到最后!
체험담을 순서에 맞게 끝까지 이야기할 수 있도록 합니다!

ここがポイント

自分の経験や、出来事(体験談)は、まず、どんな内容なのか(①内容の予告)を先に言うと、相手は、「続きを聞きたい」と思ってくれます。次に、聞き手がその話を理解するのに必要な情報を言います(②状況説明)。ここで、出来事の時期、場所、登場人物(話に出てくる人)などを説明します。そして、いよいよ、もっとも大事な部分(③話の山場/話のオチ)が来ます。そのあとに、④結末・感想を言います。最後に、その体験から学んだこと(⑤教訓)を言うこともあります。

Everyone has personal experiences or incidents (accounts) they want to share with others. When you tell a story, the best way to get the other person interested in hearing the rest is to first describe what the story is about ((1) story introduction). The next thing is to provide the other person with the information they need to understand how the story unfolded ((2) explanation of the situation). This is where the time, place, and the people involved are introduced. Next comes the most important part of the story ((3) climax or punchline), followed by the (4) conclusion and your personal thoughts about the incident. There are also times when you may describe what you learned from that particular experience ((5) lesson).

自己的经历或遇到过的事情，首先要说清楚是什么内容(①预告内容)，对方就会想“继续听下去”。然后讲清听者要理解该内容所必须了解的信息(②场景说明)。在此要说明事情发生的时间、场所、出场人物等。然后逐渐叙述更重要的部分(③故事的高潮或笑点)。再讲出④结局和感想。最后可以讲通过这种经历学到的经验(⑤经验教训)。

자신의 경험이나 일어난 일(체험담)은, 우선, 어떤 내용인가(①내용 예고)를 먼저 이야기하면 상대는「그다음 이야기 계속을 듣고 싶다」라고 생각할 것입니다. 다음에, 듣는 쪽이 그 이야기를 이해하는 데 필요한 정보를 말합니다.(②상황 설명)이 때, 일이 생긴 시기, 장소, 등장인물 등을 설명합니다. 그리고 나서 드디어, 더 중요한 부분(③이야기의 클라이맥스/이야기의 우스운 부분)이 옵니다. 그다음에 ④결말·감정을 말합니다. 마지막으로 그 체험에서 배운 것(⑤교훈)을 말하기도 합니다.

<p>●体験談の構成*</p> <p>川野: この間、私、大変だったんだ。</p> <p>森田: えっ、どうしたの?</p> <p>川野: 先週、渋谷に飲みに行ったんだ、友だちと。</p> <p>森田: うん。</p> <p>川野: で、お酒飲んで、課長の悪口、言ってたんだ。 ちょっともめてたから。</p> <p>森田: へえ。</p> <p>川野: そしたら、その課長が後ろに座ってたの!</p> <p>森田: ええっ、うっそー!</p> <p>川野: 課長には嫌味言われるし、友だちも困ってるし、ほんとに、そのときはどうしていいかわかんなかった…。</p> <p>森田: そうなんだ…。</p> <p>川野: あれから、まわりをよーく見てから 飲むようになったよ。</p> <p>森田: あはははは。</p>	<p>体験談の要素</p> <p>A 内容の予告</p> <p>B 状況説明 (時間・場所・登場人物)</p> <p>B 状況説明 (話の展開)</p> <p>C 話の山場</p> <p>D 結末・感想</p> <p>E 教訓</p>
--	--

●内容の予告

この前
昨日 +
さっき

- おもしろい/変なことがあったんだ(けど)
形容詞
- びっくりした/笑っちゃったんだ(けど)
動詞
- ショックだったんだ(けど)
名詞

●体験談を語る時の場面と場面をつなぐ表現

- 「それで」「で」……………前の話からそのまま続く
- 「そうしたら/そしたら」……………話の流れが変わる
- 「ところが」「それが」……………話の流れが大きく変わる
(前の話と反対のことが続く、予想とは違うことが起きる)
- 「それから」「それ以来」「あれから」「あれ以来」
……………そのことがきっかけで、そのあと、どう変わったかを示す
- 「これからは」「今後は」
……………そのことがきっかけで、これからどうするかを示す

*体験談は、いつもこのように展開するわけではありません。実際には、状況によって要素がなかったり、順番が変わったり、他の要素が入ったりすることがあります。

Personal accounts are not always told in this particular fashion. Depending on the situation, there are instances in which certain elements are omitted altogether, or the order in which they are introduced is changed. There are also times when other elements are introduced.

叙述经历时也不一定总是按此顺序展开话题。实际上可以根据不同情况省略某些要素或改变顺序，也可加入其他要素。

체험담은 항상 이처럼 전개되는 것은 아닙니다. 실제로는 상황에 따라 요소가 없을 수 있고, 순서가 변하기도 하고, 다른 요소가 들어오기도 합니다.

050 聞こう

☞ 解答・解答例 別冊 p.4 - 5

1 会話を聞いて、ポイント表現を聞き取りましょう。

- 050** (1) 直人: 昨日、()
友子: え? どうしたの?
直人: 敬太の背中に白い紙みたいなのがくっついてたんだ。
友子: うん。
直人: (), よく見たら、値札でさ、「大安売り! 7割引」って書いてあったんだ。
友子: あはははは。

(p.50)

構成/ structure, composition 構成 구성

悪口/ make derogatory remarks or talk bad about someone 坏话 坏话

嫌味/ nasty or unpleasant remarks 令人不快、挖苦人的话 비꼬는 말

(p.51)

くっつく/ to stick to, get stuck to 粘着 붙어있다

要素/ element 要素 요소

もめる/ to have an argument or dispute 争执 다투고 있다

まわり/ people/situation around (oneself) 周围环境 주위

値札/ price tag 标价签 가격표

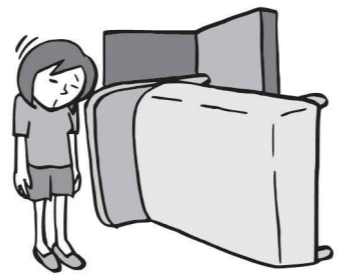
051 (2) リナ : 昨日、()
 奈美 : どうしたの?
 リナ : 朝、窓開けたら、ベランダにハトがいたんだ。
 奈美 : うん。
 リナ : ()、よく見たら、^す巢、作ってたんだ、^{はちう}鉢植えんとこに。
 奈美 : えー!

2 次の二人の会話を聞いて、^{かせんぶ}下線部が「^{たいけんたん}体験談の^{ようそ}要素」のどれに当たるかを [] に書いてください。

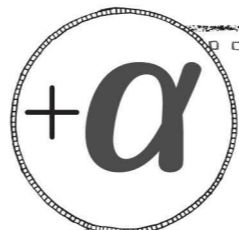
体験談の要素

A 内容の予告 <small>ないよう よこく</small>	B 状況説明(時間・場所・登場人物) / 状況説明(話の展開) <small>じょうきょうせつめい どうじょうじんぶつ てんがい</small>
C 話の山場 <small>やまば</small>	D 結末・感想 <small>けつまつ かんそう</small>
	E 教訓 <small>きょうくん</small>

052 奈美 : こないだ、①がっかりすることがあってね。 []
 リナ : 何、どうしたの。
 奈美 : やっと引越して、^{へや}部屋が広がったから、
 ②ついにあこがれのベッドを買ったんだ。 []
 リナ : ああ、ベッドの生活したいって、ずっと言ってたもんね。
 奈美 : そうなの。で、③けっこう安くいいのがあったんで、ラッキーって思って、
 送ってもらったのね。 []
 リナ : うん。
 奈美 : そしたら、④玄関通らなかったの! 大きすぎて! []
 リナ : えー、なんで? サイズ測らなかったの?
 奈美 : 部屋のサイズはね、きっちり測ったんだけど、玄関は測らなかったんだよね…。
 リナ : あははは。
 奈美 : しょうがないからキャンセル。⑤もう、ほんと、ばかだよ。 []
 ⑥そのあと、玄関も部屋中のドアも全部測ったよ。 []
 リナ : ははは…で、結局ベッド、買ったの?
 奈美 : うん、やっとね。



ハト / pigeon 鴿子 비둘기
 鉢植え / potted plant 花盆 화분
 あこがれの / wanted or desired (item, object) 梦寐以求의 동경의
 きっちり / perfectly, exactly 准确认真 정확히
 巢 / nest 窩 새집
 がっかりする / to be disappointed 颓喪 맥이 풀리다
 測る / to measure 测量 크기를 재다.



あ、その話、オチまで知ってる…

相手が始めた^{たいけんたん}体験談の内容を、自分がすでに^{さいご}最後まで知っている場合があります。そのときは、次の^{てじゆん}手順で、なるべく早くそのことを相手に^{つた}伝えます。

There are times someone may tell you an account to which you already know the conclusion. In these situations, follow the steps below to tell the other person you already know the outcome before they get too far along in the story.
 如果对方叙述的经历内容自己早已知道结局的情况，应按照以下方法尽早告诉对方。
 상대가 이야기하기 시작한 체험담의 내용을, 이미 전부 알고 있을 때가 있습니다. 그때는 다음과 같은 순서대로 되도록 빨리 상대방에게 말합니다.

- ① **まず、自分が知っていることを伝える。**
 「あ、知ってる」「[人の名前]から聞いた(よ)」
- ② **自分が知っている内容を伝える。**
 知っている内容 なんだって? / なんだってね / らしいね

話し手は、聞き手からその内容をすでに知っていると言われた場合は、「そうなんだ / そうなんだよ / そうそう…」などの^{ひょうげん}表現を使って、もう少し詳しい話をします。

When the listener tells the speaker they already know what the story is about, the speaker will generally respond with an expression such as “そうなんだ / そうなんだよ / そうそう…” and then provide a more detailed version of the account.
 但读者得知听者已经知道该事情内容时，可以说“そうなんだ / そうなんだよ / そうそう…”等，并再补充一些细节内容。
 말하는 사람은, 듣는 사람이 이미 내용을 알고 있다고 말했다를 때 「そうなんだ / そうなんだよ / そうそう…」 등의 표현을 하고, 좀더 자세한 이야기합니다.

061 **例** 友子 : 昨日、大変だったんだ。
 リナ : どうしたの?
 友子 : 奈美ちゃんと六本木に行ったんだけどね。その帰りに…
 リナ : ああ、奈美から聞いた。なんか電車止まっちゃったんだって?
 友子 : そうなの。^{じんしんじこ}人身事故。もう、まいったわ。1時間もずーっと動かなくて。
 リナ : うわー、1時間も! 大変だったねえ。

人身事故 / accident resulting in injury or death 人身事故 인신사고

話そう

解答・解答例 別冊 p.5

いろいろな話題について、【ここがポイント】の「体験談の要素①～⑤」を参考にしながら、相手が最後まで聞いてくれるように話しましょう。必要なところに場面と場面をつなぐ表現を、下から選んで、入れてみましょう。

場面と場面をつなぐ表現
そしたら (そうしたら) それで ところが で それが

例 あなたは次のような話をしたいと思っています。

昨日の夜、大変だった。バイトで疲れていて、帰りの電車で寝てしまって、気がついたら、終点だった。

- 053 奈美：最近、ほんとに疲れるよね。試験とレポートばかりで…
- ☹️：うん、授業も眠いし。
- 奈美：いつも寝てるよね。
- ☹️：だって、バイトもあるから大変なんだ。
- 奈美：そうか。
- ☹️：(うん。そういえば、ゆうべ、大変だったんだ。)
- 奈美：えっ、どうしたの？
- ☹️：(バイトで疲れてて、帰りの電車で寝ちゃって…)
- 奈美：うん。
- ☹️：(駅に着いたの気がつかなくて、終点まで行っちゃったんだ。)
- 奈美：うわー、大変だったね。それで、ちゃんと帰れたの？

(1) あなたは次のような話をしたいと思っています。

[]には、あなたの好きな有名人の名前を自由に入れてください。

054 この間、すごいことがあった。先週の日曜日、友だちと映画館に行ったら、[]がすぐ前に座っていた。

- 直人：あ、あそこ、左のテーブルの赤いセーターの人、有名な映画監督だよ。
- ☺️：へえ。
- 直人：この間、テレビで見た。間違いないよ。
- ☺️：(ふーん…あ、)
- 直人：えっ、なにになに？
- ☺️：()
- 直人：うん。
- ☺️：()
- 直人：えー、ラッキーだったなあ。それで、どんな感じだった？ テレビとおんなじ？

(2) あなたは友子と店で買い物をしているとき、次のような話をしたいと思っています。

[]には、あなたが好きなことばを入れてください。

056 この間、ちょっとショックなことがあった。前に、[場所]で[もの]を買い、先週、そこに行ったら、同じ[もの]が半額になっていた。

- 友子：なに悩んでるの？
- ☹️：これ、すごくいいんだけど、うーん、8900円か…。
- 友子：あれ？ 迷ってるの？ 前は気に入ったら、すぐ買ってたじゃない。
- ☹️：(うん、そうなんだけど…。)
- 友子：どうしたの？
- ☹️：()
- 友子：うん。
- ☹️：()
- 友子：うんうん。
- ☹️：()
- 友子：えー、そういうの、ほんとにくやしいよね…。

(3) あなたは次のような話をしたいと思っています。

[]には、日本語の単語を自由に入れてください。

058 この間、いいことがあった。[]ということばの使い方がわからなかったが、ドラマで聞いてわかった。友だちと話しているとき、使ってみたら、うまくいった。

- ☺️：「すなわち」って、これ、よく出てくるけど、どういう意味？
- カイ：うーん、「別のことばで言うと」っていう意味じゃなかったっけ。
- ☹️：ああ、そうか。そうだった。
- カイ：そういうことばって、意味はわかって、なかなか使えないんだよな。
- ☺️：(うん。あ、でも、)
- カイ：え？ 何？
- ☺️：()
- カイ：そうか。
- ☹️：()
- カイ：おお。
- ☺️：()
- カイ：へえ、そっか。ドラマもけっこう役に立つんだな。僕も今度、注意して見てみようかな。

悩む / to be worried, to be troubled by 犹豫 고민하다
くやしい / frustrating, upsetting 懊悔 奇想하다

迷う / to be undecided, unable to decide 犹豫 망설이다

そういえば / speaking of which 对了 그리고 보니
間違いない / no doubt, 100% certain 絶対沒錯 틀림없다

ちゃんと / properly 平安 제대로

これで OK!

060



友子：昨日、大変だったんだ。

奈美：え、どうしたの？

友子：駅前のスーパーに行ったんだけど、
雨降ってきちゃって…。

奈美：ああ、けっこう降ったよね。

友子：それでね、持ってた袋が紙袋だった
んだよね。

奈美：あー。

友子：がんばって持ってたんだけど、
どうとう道の真ん中で破けちゃった
んだ。

奈美：うわ…それは大変だったねえ。

Unit
3
まとめ

たいけん 体験をおもしろく話すには…?

たいけんだん 体験談を話すときは、話の山場に向けて、必要な情報をどのよ
うに出していけばよいかを意識しましょう。相手がわかるかど
うかに気をつかうことも大切です。

When you relate a personal account, always try to organize the necessary details in the best possible way as you build up towards the story's climax. It's also important to keep the other person in mind and make sure they understand what you are talking about.

叙述经历时，应考虑在接近故事的高潮之前，如何讲清楚必要的信息。顾及对方是否一一听懂也非常重要。

체험담을 말할 때는, 이야기의 클라이맥스를 향해, 필요한 정보를 어떻게 꺼내면 좋은지 의식해 봅시다. 상대가 이해하고 있는지 어떤지 배려하는 것도 중요합니다.